

いもち病（葉いもち）情報第2号

平成30年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

県内多数の地域において葉いもちの感染好適日がありました。
ほ場における発生状況に注意しましょう。

6月下旬の巡回調査では、葉いもちの発生は確認していません。イネいもち病発生予察用シミュレーションプログラム（BLASTAM）を用いた葉いもち感染好適日の判定によれば、6月16日では県内の多くの地域において、15日、20日、21日、27日、7月1日はそれぞれ南知多、豊田、大府、新城、稲武で感染好適日となりました（表）。いもち病菌に感染すると7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。

6月28日名古屋地方气象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月は暖かい空気に覆われやすいため気温が高く、さらに前線や湿った空気の影響を受けにくいため、向こう1か月の降水量は少ない見込みです。

本田の発生状況に注意し、発生を確認したらオリブライト1キロ粒剤、キタジンP粒剤、カスミン液剤などで防除しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果
（6月15日～7月1日）

日 付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛 西	名 古屋	大 府	南 知 多	豊 田	岡 崎	蒲 郡	伊 良 湖	豊 橋	新 城	稲 武
6/15	6	3	6	●	3	3	7	—	8	6	5
6/16	●	7	●	●	●	3	3	9	●	●	①
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	8	④	—	9	—	2	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	4	2	8	8	●	9	④	5	5	8	8
6/21	6	8	●	—	8	1	1	—	—	1	3
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/24	4	7	9	9	7	5	7	2	9	7	9
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	9	—	—	—	—	3	3	—	1	●	4
6/28	5	1	—	—	3	—	—	—	—	—	5
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
6/30	2	—	—	—	③	6	—	—	—	9	7
7/1	—	—	—	8	—	5	—	—	3	2	●

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生的好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生的好適条件が現れなかった）